

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">カード規定</p> <p>1. (カードの利用)</p> <p>普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、貯蓄貯金について発行したキャッシュカード（ICチップを搭載したICキャッシュカードを含みます。）およびカードローンについて発行したローンカード（以下、これらを「カード」といいます。）は、<u>同一名義で当組合に開設された全ての</u>貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。</p> <p>ただし、カードローンの貸越、返済についての利用は、当組合とカードローン取引約定のある場合に限り、ります。</p> <p>① 当組合、当組合が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）<u>もしくは</u>当組合がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して<u>または当組合の店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を使用して、</u>カードローンの貸越の返済、普通貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）</p> <p>② 当組合<u>もしくは</u>当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「出金提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。）を使用して、<u>または当組合の店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を使用して、</u>カードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合（以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。）</p> <p>③～④ （省略）</p> <p>⑤ <u>当組合の店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を使用して、振込の依頼、届出事項の変更、口座振替の依頼等を行う場合</u></p> <p>⑥ <u>当組合もしくは提携組合の貯金機、支払機もしくは振込機を使用して、または当組合の店舗において、当組合の店舗に設置しているタブレット、ピンパッド等の機器を用いて貯金の残高や届出情報を表示する場合</u></p> <p>⑦ <u>その他当組合所定の取引をする場合</u></p> <p>2. (入金)</p> <p>(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に<u>したがって、</u>貯金機にカードまたは通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。</p> <p>(2) 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および入金提携先所定の種類の紙幣に限ります。ま</p> | <p style="text-align: center;">カード規定</p> <p>1. (カードの利用)</p> <p>普通貯金（利息を付さない旨の約定のある普通貯金無利息型（決済用）、総合口座取引および総合口座（普通貯金無利息型）取引の普通貯金を含みます。以下、同じです。）、貯蓄貯金について発行したキャッシュカード（ICチップを搭載したICキャッシュカードを含みます。）およびカードローンについて発行したローンカード（以下、これらを「カード」といいます。）は、<u>それぞれ当該</u>貯金口座または貸越口座について、次の場合に利用することができます。</p> <p>ただし、カードローンの貸越、返済についての利用は、当組合とカードローン取引約定のある場合に限り、ります。</p> <p>① 当組合、当組合が提携した他の農業協同組合（信用農業協同組合連合会を含みます。以下、「提携組合」といいます。）<u>および</u>当組合がオンライン現金自動預入機の共同利用による現金預入業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「入金提携先」といいます。）の現金自動貯金機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「貯金機」といいます。）を使用して<u>(追加)</u>カードローンの貸越の返済、普通貯金または貯蓄貯金（以下、これらを「貯金」といいます。）に預入れをする場合（以下、これらの取引を単に「入金」といいます。）</p> <p>② 当組合<u>および</u>当組合がオンライン現金自動支払機の共同利用による現金支払業務を提携した金融機関等（以下、提携組合も含めて「出金提携先」といいます。）の現金自動支払機（現金自動預入払出兼用機を含みます。以下、「支払機」といいます。）を使用して<u>(追加)</u>カードローンの貸越を受け、または貯金の払戻しをする場合（以下、これらの取引を単に「払戻し」といいます。）</p> <p>③～④ （省略）</p> <p><u>(追加)</u></p> <p>⑤ <u>その他当組合所定の取引をする場合</u></p> <p>2. (貯金機による入金)</p> <p>(1) 貯金機を使用して入金する場合には、貯金機の画面表示等の操作手順に<u>従って、</u>貯金機にカードまたは通帳（当組合および提携組合に限ります。）を所定の方法で挿入し、現金を投入して操作してください。</p> <p>(2) 貯金機による入金は、貯金機の機種により当組合および入金提携先所定の種類の紙幣に限ります。ま</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|--|---|
| <p>た、1回あたりの入金は、当組合および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。</p> <p><u>(3) 入金機の代替として、ピンパッドを用いて窓口で入金する際は、当組合所定の入金票に届出の氏名、金額を記入のうえ、カードとともに提出してください。なお、入金にあたっての限度額については、前項に定めるとおりとします。</u></p> <p><u>(4) 当組合の店舗においてタブレット等を用いて入金をする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u></p> <p>3. (払戻し)</p> <p>(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に<u>したがって</u>支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p> <p>(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または出金提携先所定の金額単位とし、1回あたりの払戻しは、当組合または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範囲内とします。</p> <p>(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。</p> <p><u>(4) ピンパッドを用いて窓口で払戻しを行う際には、当組合所定の払戻請求書に金額および届出の氏名を記入のうえ、カードとともに提出してください。なお、払戻しの際の1回あたりの限度額および限度額超過時の対応は前二項に定めるとおりです。</u></p> <p><u>(5) 当組合の店舗においてタブレット等を用いて払戻しをする際は、店舗に設置されたタブレット等に届出の氏名、金額を入力してください。</u></p> <p>4. (振込機による振込)</p> <p>振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に<u>したがって</u>、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p> <p>5. ～8. (省略)</p> <p>9. (本人確認)</p> <p><u>(1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードが、当組合が本人に交付したカードであること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ貯金の払戻しを行います。</u></p> <p><u>(2) カードを、タブレット等を通して本人確認手段として利用する場合は、当組合所定の操作手順にした</u></p> | <p>た、1回あたりの入金は、当組合および入金提携先所定の枚数による金額の範囲内とします。</p> <p><u>(追加)</u></p> <p>3. (支払機による払戻し)</p> <p>(1) 支払機を使用して払戻しをする場合には、支払機の画面表示等の操作手順に<u>従って</u>支払機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および金額を正確に入力してください。この場合、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p> <p>(2) 支払機による払戻しは、支払機の機種により当組合または出金提携先所定の金額単位とし、1回あたりの払戻しは、当組合または出金提携先所定の金額の範囲内とします。なお、1日あたりの払戻しは当組合所定の金額の範囲内とします。</p> <p>(3) 支払機を使用して払戻しをする場合に、払戻請求金額と第5条第1項に規定する自動機利用手数料金額との合計額が払戻すことのできる金額をこえるときは、その払戻しはできません。</p> <p><u>(追加)</u></p> <p>4. (振込機による振込)</p> <p>振込機を使用して振込資金を貯金口座からの振替えにより払戻し、振込の依頼をする場合には、振込機の画面表示等の操作手順に<u>従って</u>、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証その他の所定の事項を正確に入力してください。この場合における貯金の払戻しについては、通帳および払戻請求書の提出は必要ありません。</p> <p>5. ～8. (省略)</p> <p><u>(追加)</u></p> |

| 改正後 | 改正前 |
|--|--|
| <p><u>がって、当組合所定の端末にカードを挿入し、届出の暗証を正確に入力してください。</u></p> <p><u>(3) 当組合は、前記によりタブレット等に入力された暗証と、届出の暗証との一致を確認することにより本人確認を行うものとしします。</u></p> <p><u>(4) 当組合所定の場合には、前二項に加え、本人確認書類の提示等当組合所定の手続を行うことがあります。</u></p> <p><u>10. (カード・暗証の管理等)</u></p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>(1) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合、または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。</u></p> <p><u>(2) 当組合が、前記9の本人確認手続を行ったうえで、払戻し、払戻請求書、諸届その他の書類を取り扱った場合（当組合が預金の払戻しに応じたことを含みます。）は、カードまたは暗証につき事故があっても、そのために生じた損害については、当組合は責任を負いません。ただし、後記11および12に定める場合にはこの限りではありません。</u></p> <p>(3) (省略)</p> <p><u>11. (偽造カード等による払戻し等)</u></p> <p>(省略)</p> <p><u>12. (盗難カードによる払戻し等)</u></p> <p>(省略)</p> <p><u>13. (カードの紛失、届出事項の変更等)</u></p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当組合および都内の提携組合に限ります。）<u>およびタブレット等</u>により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機<u>およびタブレット等</u>の画面表示等の操作手順に<u>したがって</u>貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。</p> <p>(3) (省略)</p> | <p><u>9. (カード・暗証の管理等)</u></p> <p><u>(1) 当組合は、支払機または振込機の操作の際に使用されたカードの電磁的または電子的情報が、当組合が本人に交付したカードに関して登録されている電磁的または電子的情報と一致すること、および入力された暗証と届出の暗証とが一致することを当組合所定の方法により確認のうえ払戻しを行います。</u></p> <p><u>(2) カードは他人に使用されないよう保管してください。暗証は生年月日・電話番号等の他人に推測されやすい番号の利用を避け、他人に知られないよう管理してください。カードが、偽造、盗難、紛失等により他人に使用されるおそれが生じた場合、または他人に使用されたことを認知した場合には、すみやかに本人から当組合に通知してください。この通知を受けたときは、直ちにカードによる貯金の払戻し停止の措置を講じます。</u></p> <p><u>(追加)</u></p> <p>(3) (省略)</p> <p><u>10. (偽造カード等による払戻し等)</u></p> <p>(省略)</p> <p><u>11. (盗難カードによる払戻し等)</u></p> <p>(省略)</p> <p><u>12. (カードの紛失、届出事項の変更等)</u></p> <p>(1) (省略)</p> <p>(2) 前項の暗証の変更については、貯金機、支払機、振込機（当組合および都内の提携組合に限ります。）<u>(追加)</u>により届出ることができます。この場合、貯金機、支払機、振込機<u>(追加)</u>の画面表示等の操作手順に<u>従って</u>貯金機、支払機、振込機にカードを所定の方法で挿入し、届出の暗証および変更後の暗証を正確に入力してください。この場合、前項にかかわらず、書面による届出は必要ありません。</p> <p>(3) (省略)</p> |

| 改正後 | 改正前 |
|--|--|
| <p><u>14. (カードの再発行等)</u> (省略)</p> <p><u>15. (貯金機、支払機、振込機への誤入力等)</u> (省略)</p> <p><u>16. (解約、カードの利用停止等)</u> (1)～(2) (省略) (3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。</p> <p>① <u>第17条</u>に定める規定に違反した場合 ② 普通貯金規定、総合口座取引規定または貯蓄貯金規定により貯金口座の貯金取引が停止された場合 ③ 貯金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合 ④ カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合</p> <p><u>17. (譲渡、質入れ等の禁止)</u> (省略)</p> <p><u>18. (規定の適用)</u> (省略)</p> <p style="text-align: right;">以上 <u>(2025年4月1日現在)</u></p> | <p><u>13. (カードの再発行等)</u> (省略)</p> <p><u>14. (貯金機、支払機、振込機への誤入力等)</u> (省略)</p> <p><u>15. (解約、カードの利用停止等)</u> (1)～(2) (省略) (3) 次の場合には、カードの利用を停止することがあります。この場合、当組合から請求があり次第直ちにカードを当店に返却してください。ただし、後記③の場合は、当組合の窓口において当組合所定の本人確認書類の提示を受け、当組合が本人であることを確認できたときに停止を解除します。</p> <p>① <u>第16条</u>に定める規定に違反した場合 ② 普通貯金規定、総合口座取引規定または貯蓄貯金規定により貯金口座の貯金取引が停止された場合 ③ 貯金口座に関し、最終の預入れまたは払戻しから当組合が別途表示する一定の期間が経過した場合 ④ カードが偽造、盗難、紛失等により不正に使用されるおそれがあると当組合が判断した場合</p> <p><u>16. (譲渡、質入れ等の禁止)</u> (省略)</p> <p><u>17. (規定の適用)</u> (省略)</p> <p style="text-align: right;">以上 <u>(2020年4月1日現在)</u></p> |